

古代米の梵天で「高校受験全員合格」祈願

本荘東中学校3年生による古代米の田植え、稲刈り体験を実施。5月23日、東中3年生131名が古代米の苗を使い、田植えを行いました。

今年の生徒会のスローガンは「NOW OR NEVER ～十年目のキセキ～」です。

「今こそチャンス」という意味で、開校十年目を迎えた今年、「東中生全員で奇跡を起こそう」という願いを込めて【NEVER】という文字にしました。

8月29日、古代米部分だけの稲刈りをし、その刈り取った稲を使って梵天を作り、12月5日に寄贈しています。梵天には高校受験合格・交通安全の願いが込められています。

今回は3年生の生徒全員がフロアに集合し、寄贈後、受験全員合格を祈願しました。



活動体制	
実施主体	本荘子吉環境保全活動組織
後援・連携	水土里ネット子吉（由利本荘市子吉土地改良区）
実施期間	5月～12月
参加者	本荘東中学校3年生他（131名）
報道関連	
活動実施年数	9年目（H18年～）
連絡先	〒015-0042 由利本荘市埋田字小館81-16 由利本荘市子吉土地改良区 TEL. 0184-22-0426
その他	県奨励賞（H17）県知事賞（H21）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット子吉（渡辺 聡）

○活動の目標及び達成率	目標 東中3年生全員参加 達成率 100%			
○活動に対する評価	学校行事として取り組んでもらえることから、地域住民の参加も可能にしていけたら良いのでは（天候による順延の知らせが難しい）。			
判定基準	自己判定（達成度）	判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等	判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C 浸透や継続は可能だが、以上の工夫は難しい。
①役職員・組合員の参加	B	毎年広報で知らせているが、現在は保全事業の一環で行われているため、創造運動が始まりであるとは、組合員全てが理解しているとは疑問である。	③運動の計画性	D 水土里ネットの重要性については理解が薄いと思われる。
②後継者育成の工夫	D	将来の人材はわからない。	4. 運動の成果	
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	D 改良区事業の参加、組織の活性化には繋がっていない。
①基本理念の設定	A	生徒に農作業を通じ将来農業に関心を持ってもらいたい。	b. 地域農業	D 先導的では無い。
②地域の歴史等の伝承	B	農地を活かす運動となっている。	c. 地域コミュニティー	B 学校とは密接に関わっている。
③運動の先駆性	A	後輩に受け継がれている。	d. 地域資源管理	C 学校とは密接に関わっている。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について	
①運動の継続性	A	無理の無い運動である。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他